

# 家庭画報

7  
July 2013  
KATEIGAHO

特大号  
3大付録つき



## 今、話題の「昭和遺産」へ

歌舞伎座、東京駅、百貨店、洋食屋、銭湯、昭和の町・豊後高田ほか



### 開運・招福術

決定版 国内旅行を楽しみたい——全国50軒

### ホテルで優雅なバカンスを

稀代の女方の魅力に迫る

### 坂東玉三郎 悠久の美

おもてなしの達人が披露  
夏を楽しむ集いのレシピ

渓谷、海辺で装う  
美しさ際立つ夏のリゾートスタイル

別冊付録 3 家庭画報通販カタログ  
美味しい贈りもの&涼やかな夏の装

天性の感性を持つピアニスト  
本田智大—13歳の軌跡





1960年代頃まで、ミシンといえは足踏みが主流。家に帰ると母が窓辺でミシンをカタカタと動かす姿に、子ども心にも安らぎを感じたもの。襟や袖に縹切れを使い、無駄なく工夫を凝らした洋服にはどんな既製品もかなわない。シンガー製足踏みミシン2万8800円/アンティーク 山本商店  
スタイリング(静物)/横瀬多美保  
ヘア&メイク/瑛織直美  
モデル/杉浦美幸 奥森早月



## 読者が選んだ 「懐かしい昭和」 アンケート集計

本誌5月号読者アンケート調査「懐かしい昭和と聞いて、思い浮かべる場所やモノを教えてください」との問いに対する回答集計結果です。リストを眺めているだけで、「あの頃」の記憶が甦ってくるような、そんなポキャブラリーが並びます。じっくりとご覧ください。(集計人数349名)

- ①卓袱台 26票
- ①東京タワー 26票
- ③白黒テレビ(脚付き) 22票
- ④駄菓子屋 16票
- ⑤黒電話 15票
- ⑥東京オリンピック 13票
- ⑥映画館 13票
- ⑥レコード 13票
- ⑨大阪万博 10票
- ⑩銀座 9票
- ⑪木造校舎 8票
- ⑫商店街 7票
- ⑫銭湯 7票
- ⑫手動式洗濯機 7票
- ⑫ダッコちゃん 7票
- ⑫火鉢 7票
- ⑫歌声喫茶・音楽喫茶 7票
- ⑬フラフープ 6票
- ⑬ブラウン管テレビ 6票
- ⑬赤いポスト 6票
- ⑬ブリキのおもちゃ 6票
- ⑭美空ひばり 5票
- ⑭豊後高田「昭和の町」 4票
- ⑭メンコ 4票
- ⑭太陽の塔 4票
- ⑭五右衛門風呂 4票
- ⑭ゴム跳び 4票
- ⑭足踏みミシン 4票
- ⑭セルロイドの文具 4票
- ⑭ハイトリ紙 4票
- ⑭紙芝居 4票

[以下、その他3票以下リスト]

- はたき●蜘蛛●脱脂粉乳●
- 学校給食●かき氷●蚊取り線香●ケロリン桶●おぼけ煙突●
- 缶ジュースから外れるプルトップ●蠅たたき●公衆電話ボックス●義理人情●チキンラーメン●ラムネ●ボンカレー●ペコちゃん●木箱入りりんご●リカちゃん人形●オロナミンCの看板●お手玉●二宮金次郎の銅像●インベーダーゲーム●割烹着●紙石鹸●牛乳石鹸●アルマイトの洗面器●鯨ベーコン●グリコのおまけ●カセットテープ●日劇●こたつ●フーテンの寅さん●おかっぱ頭の少女●縦に入れるトースター●石蹴り●フルーツ牛乳●たらい●公団住宅など



●近代が生んだ庶民の家具「卓袱台」  
使わないときは脚を折り畳み、縦にして転がせば女性や子どもでも運べる便利な家具。直径88cm、1台1万7800円。●アンティーク 山本商店 ☎03(3468)0853



●機種によってダイヤルの回転速度が違った「黒電話」  
昭和38年に日本電信電話社によって提供が開始された600形。A1はA2と比べてダイヤルの回転が遅い。「電電公社黒電話600A1」1万3650円。●椿花堂 ☎080(3924)



●戦後復興を支えた「ブリキのおもちゃ」  
終戦後、おもちゃ産業はいち早く復興。多くはアメリカ向けに作られ、サンフランシスコ講和条約が結ばれる昭和26年までは「MADE IN OCCUPIED JAPAN」(占領下の日本製)の文字が入っていた。写真は都電荒川線。4200円。●横浜ブリキのおもちゃ博物館 ☎045(621)8710

●「日本の夏」と言えば、「金鳥の渦巻蚊取り線香」  
当時日本になかった除虫菊の種子を、金鳥で有名な大日本除虫菊創業者が手に入れ栽培を始めたのが蚊取り線香普及のきっかけ。一箱三八九円。●大日本除虫菊 ☎06(6441)1105



●夏の季語にもなっている「蚊帳」  
「キッチンパラソル」とも呼ばれる。写真はオーガニック製品認証を取得した現代のもの。5880円。●ハート ☎088(882)4788  
柴付角皿 卓袱台/すべてアンティーク 山本商店

●カモ井の「リボンハイトリ」  
創業家の鴨井家はもともと食品会社を経営。工場の蠅駆除のために考えられた。商品名は西日本の人が「ハイ」と発音することに由来。三九〇円。●カモ井加工紙 ☎086(465)5811



●植物系原料による汎用樹脂「セルロイド」の筆箱  
象牙の代用品として開発された。昭和初期、日本は生産の多くを占めた。石油系プラスチックの台頭で衰退。写真は1点もの。●書斎館 ☎03(3400)3377



●腸捻転疑惑で失速した「フラフープ」  
昭和32年にオーストラリアで考案され、アメリカで大流行。翌年東京の百貨店では1000本が2時間で売り切れた。やりすぎて腸捻転になったという風評が広まり、すぐ下火となった。1本510円。●日本教材製作所 ☎06(6998)4421